

全国学力・学習状況調査の結果について

校庭の木々も真っ赤に燃えるように色づいた葉を落とし、冬支度に入りました。児童は持久走記録会で自己のタイムを更新しようと頑張りました。図書館では、「先生のおすすめの本」を楽しむ姿が見られ、いろいろな秋が深まっています。

さて、今回は、4月に6年生を対象として行われた、「全国学力・学習状況調査」の結果と、今後の取組についてお知らせします。

【よかった点】

- ◎国語B，算数A，理科の調査では，全員が空欄なしで取り組みました。難しい問題にもあきらめず挑戦しようとする気持ちが育っています。
- 国語では，「話す・聞く」「読む」ことの力が付いてきました。
- 理科では，全ての領域において，全国・県の平均を上回ることができました。
- 「自分にはよいところがあると思いますか」という質問において，半数以上の児童が「ある」と答え，「どちらかといえばある」を合わせると，全員が自己肯定感もてているというところができていたことが分かりました。
- 「地域の行事に進んで参加していますか。」という質問において，多くの児童が「ある」と答え，「どちらかといえばある」を合わせると，全員が地域行事に参加していることが分かりました。地域の方に見守られて育つことが子どもたちにとって大切であることを実感しました。

【課題点を受けて】

△算数では，A（知識），B（活用）ともに，図形の学習の定着に課題が見られました。

- ・ 180° 以上の角の大きさを求める問題
- ・円周を求める公式を使って円周率を求める式を立てる問題
- ・『 $12 \div 0.8$ 』で求められる文章題を探す問題

これらの課題を受け，6年生では，担任が児童の苦手な領域を把握し，復習プリントを配布して家庭学習の課題として行えるようにしています。

△「家で自分で計画を立てて学習をしていますか。」という質問では，「している」と答えた児童は，全体の2割弱にとどまりました。この課題を受けて，6年生では，1学期から計画的に自主学習を進める取り組みを行ってきています。子どもたちも，いろいろ工夫をしながら，進んで学習する習慣を作りつつあります。

△「学校がある日に1日どれくらい読書をしますか。」という質問では，30分未満の児童が大半を占めました。「全く読まない」という児童が半数いることも，課題です。学力アッププログラムチャレンジ週間では，学習の時間も大切ですが，読書の時間にも焦点を当てながら，学校でも家庭での読書を呼びかけていきます。